

個人質問発言通告書 (1 日目)

平成 15 年 9 月 10 日 (水)

1 人当たり 15 分間 (答弁を除く)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	我如古 一 郎 (日本共産党)	1 高 齢 者 医 療 ・ 高 額 医 療 費 償 還 払 い 制 度 について 2 国 保 法 44 条 の 窓 口 自 己 負 担 減 免 の 実 施 要 綱 について 3 市 立 病 院 の 外 来 人 工 透 析 受 診 者 の 透 析 食 料 金 につい て 4 住 民 基 本 台 帳 ネットワー ク について	償還払い制度の簡素化で高齢者の負担を軽減 するよう提案してきたが、その後払い戻しの状況 はどうなっているか。今後の対応を問う 第 3 条 の 4 項、 「 本市の国民健康保険の被保 険者の資格を得てから 6 カ月を経過しないもの。 特別な事情がないのに保険税を滞納している もの。 」 については、先に策定した豊見城市では ない項である。法の理念を生かし、必要な人が平 等にこの制度を受ける事ができるよう、削除をす べきではないか。見解と対応を問う (1) 国 保 法 44 条 減 免 の よう な、 低 所 得 世 帯 に 減 免 ・ 減 額 す る 制 度 を、 市 立 病 院 独 自 に 検 討 す る こ と は で き な い か (2) 健 康 福 祉 部 が、 本 市 の 福 祉 制 度 の 一 環 と し て、 減 免 制 度 等 を 検 討 す る 考 え は な い か。 見 解 を 問 う (1) 住 基 ネット の 本 格 稼 働 が 始 ま っ た が、 個 人 情 報 を 国 が 管 理 す る こ と に 国 民 的 合 意 は な い。 また、 個 人 情 報 の 漏 え い 等、 市 民 の 不 安 は 高 ま る ば か り で あ る。 住 基 ネット か ら は 離 脱 す る べ き で あ る。 見 解 を 問 う (2) 希 望 者 の み 接 続 す る こ と や、 あ る い は 接 続 を 拒 否 し て い る 市 民 の 情 報 は、 接 続 し な い な どの 対 応 も 必 要 で は な い か。 見 解 を 問 う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 道路行政について	(3) 那覇市個人情報保護審査会は、市民の個人情報を守るためにも、条例の改正を含む必要な措置を求めているが、当局の対応と見解を問う 道路の舗装・滑り止め工事について 7月下旬、市道真地3号の真地地内で、下水道工事において舗装後、滑り止め工事を行っているが、滑り止め用の資材は直径2ミリほどの球状で、接着剤からはずれた分は表面に浮いており、逆にすべりを助長するような状態であり、非常に危険である 現実に工事後2日目に、オートバイがこの工事箇所では横転する事故が発生し、救急車も呼ばれている 施工に問題はなかったのか。市内全域での全ての道路工事の今後のあり方を検討すべきだと思うが、見解と対応を問う
			【答弁を求める者】 市長、助役、病院事業管理者、関係部長

個人質問（１日目） 平成 15 年 9 月 10 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	金 城 徹 (清政クラブ)	1 那覇軍港内の 土 壌 汚 染 の 調 査 及 び そ の 対 策 について 2 那覇軍港の 跡 地 利 用 対 策 について	(1) 沖縄県内の米軍基地における土壌汚染の 状況認識について問う (2) 那覇軍港内における油送管と土壌汚染の 状況認識について問う (3) 国に対して那覇軍港内の環境汚染調査を 求めるべきではないか、見解を伺う 跡利用計画について問う (1) 那覇軍港の跡利用計画を進めていく上での 問題点は何か (2) 統一案で示されたプランの課題は何か (3) 平成 7 年度に、那覇市と地主会とで作成し た跡利用計画の統一案について、その後の情 勢の変化を受けて見直しの作業に着手する 考えはないか (4) 県都那覇市の振興に関する協議会の進捗 状況と本市の対応について、説明を求める
			【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（１日目） 平成 15 年 9 月 10 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	喜舎場 盛 三 (公 明 党)	1 新生児の視覚検査について 2 救急救命について 3 金銭教育について	新生児の障害発症率をみると「視覚」異常は 2 %と厚生労働省は発表している。視覚に発達遅延や障害があっても、新生児や乳幼児期のできる限り早期に異常の発見をして治療・訓練をすれば視機能の発達を促すことが可能だそうである (1) 3 歳児検診時より早く、できれば新生児か乳幼児期に、眼科医や視能訓練士による視覚検査を実施できないか伺う (2) 乳幼児健康診断の中で、医師による検査項目の中で目の検査は 1 歳 6 カ月検診からで、それまでは母子手帳の中で目つきや目の動きがおかしいのではないかと気になりますかと保護者に聞くだけである。もっと保護者に目のチェックや視能訓練の重要性と認識してもらおう方法がとれないか伺う 日本では、毎日 100 人近くが心臓突然死で命を落としているといわれている。厚生労働省は、心停止患者の心臓に電気ショックを与えて救命する自動体外式除細動器（ A E D ）の使用を医師や救急救命士、航空機の乗務員だけでなく、講習を受けた一般の人にも使用を認める方針を決めたそうだが、その実施の時期が決定すれば本市でもそれについて研究する必要があると思うが、当局の見解を伺う (1) ものやお金を大切にし、働くことに感謝する気持や思いやりを育むため、本市の小中学校においても「金銭教育」が取り組まれているようであるが、その意義と取り組み状況を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 「金銭教育」のこれからの課題を伺う (3) 最近、多重債務者が増え、個人破産もかなり増加しているようである。多重債務者にならないため、また、トラブルに巻き込まれないようにするためにも、子供の頃から金融経済の仕組みを身につけ、働くことの苦しさや楽しさを学ぶ「金融経済教育」の必要性を説く意見があるが、当局の見解を伺う
		4 道路のスリップ防止舗装について	国場中央線と国場東線の交差点付近では、国場東線側はスリップ防止舗装が施工されているが、国場中央線側は施工されていない そのためスリップし易く、また、国場中央線は、寄宮方面から真玉橋方面へは下りのカーブになっているために見通しが悪く、交通事故が多発している。したがって、スリップ防止舗装を望む声が多いが、対策はどうなっているか伺う
		5 観光行政について	台湾をはじめとするアジアからの観光客への対応について、本市の取り組みを伺う
			【答弁を求める者】 市長、病院事業管理者、関係部長

個人質問（１日目） 平成 15 年 9 月 10 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	大 城 春 吉	1 市民の意識 調査について	県都那覇市として、30 万人余の市民のために何をなすべきか、何が必要か。また、市民が市政に対し何を求めているのか。現状を把握して、今後いかなる方策(施策)をもって対処善処するか、姿勢、展望、方向性が求められている いずれにせよ、現状を無視して本市の発展向上はあり得ない。そこで、今年 1 月に実施された調査資料の中から、次の課題や要望等について関係当局の見解を伺いたい (1) 住みたくない理由の主なものとして「交通の危険や騒音」38.5 %、次いで「道路や歩道が狭い」33.8 %、「家賃が高い」30.8 %について (2) 複数回答で最も多かった必要施設として「地域のスポーツ施設」31.7 %、次いで「保安灯(街灯)」24.1 %、「子どもの遊び場」24.1 %、「ジョギングコース又は散歩道」24.0 %となっている点について (3) 複数回答で「身近で困っていること」で最も多かったのが「子どもの遊び場が少ない」22.9 %、次いで「交通事故の危険性が高い」22.9 %、「公園・緑地が少ない」22.6 %について (4) 市政への関心で最も多かったのが「多少関心を持っている」53.6 %、「あまり関心を持っていない」25.0 %、「非常に関心を持っている」15.6 %、「まったく関心を持っていない」4.1 %となっており、特に 20 代の若者に関心が薄く、関心がないが半数を超えている点について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 少年犯罪について	県民に衝撃を与えた北谷町での中二殺害遺棄事件や長崎県での4歳児誘拐殺害事件、また、東京での4少女監禁事件等、少年による犯行は、誠に憂慮すべき事態である 昨今、少年犯罪の低年齢化が叫ばれている中、家庭、学校、行政、地域社会が一体となって再発防止に全力を挙げて取り組まなければならないものと思慮する。そこで、次の点について当局に伺いたい (1) 今回の事件を通して、学校現場での指導体制はどのようになされたか。また、命の尊厳をどう教育するか (2) 小中校において、金銭せびり、いじめ、深夜徘徊、不登校の実態と取り組みについてはどうなっているのか
		3 N A H A マ ラソンコース の変更箇所について	国道329号、古波蔵 - 国場十字路向けのコースから、古波蔵中学校 - 爬龍橋 - 東バイパス仲井真交差点向けに、大会後半より変更されたが、その主な理由は何か また、地理的状況及び声援の多さからして、もとのコースに戻すのが良いのではないかと思うが、どうか
			【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 15 年 9 月 10 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	仲 本 嘉 公 (市民・社社 ネット)	1 那覇市立学 校適正規模等 審議会(答申) について	那覇市立学校の適正規模、適正配置及び通学区 域について (1) 市教委内に専門部署を設置するよう求め られているが、その対応について (2) 1 学級の規模は 30 人が望ましいとある が、当面は 35 人を上限とすることについて (3) 学校の統廃合もやむを得ないと指摘され ているが、2、3 挙げるとするとどこか (4) 学校選択制と現在ある指定通学区域制の 維持との整合性について (5) 通学区域特認校制の採用について 以上の件について、市教委の判断と今後の対応 と具体的実現について、さらに今ある特色ある学 校づくりと、どう関わっていくのか伺う
		2 成人式につ いて	(1) ことしの成人式を踏まえて、来年の望まし い成人式のあり方を、市教委としてどう判断 し、指導していくのか (2) 青少協中校区単位が 17 地区あるが、特に 成人式について、どのように対応した方が望 ましいと思われるか、伺う (3) 来年の成人式についての予算の執行は、 どのようになるか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 屋上緑化について	(1) 現状の市民の認識度と普及状況は、どうなっているのか (2) 駅周辺だけではなくて、今後、沿線周辺にも普及させてはどうか (3) どのような造り方が望ましいのか(補助額内では) 伺う
		4 市営住宅空家募集についての多子世帯支援について	新都心地区での銘苅市営住宅の入居についての措置で、多子世帯向けの入居枠を確保された。昨今の少子化傾向を踏まえ、住宅事情のせいで3人目の子供をつくるべきかどうか迷っている夫婦を後押しするためにも、今後、空家募集の中に、多子世帯向けの入居枠を取り入れるべきだと考えるがどうか、伺う
		5 台風時の観光客対応策について	台風銀座のこの沖縄で毎年起こりうることだが、台風で飛行機が飛ばず、多くの観光客が空港内で宿泊を余儀なくされる場合がよくある 観光立県沖縄・県都那覇を言うには、公共施設の緊急利用がほとんどない状況である。そこで、公共施設を緊急、臨時的に(武道館、学校体育館、自治公民館、その他) 対応させることについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 15 年 9 月 10 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	上 原 章 (公 明 党)	1 教育行政について	(1) 本市の老朽化した公立小中学校の校舎や体育館の建て替え計画を聞かせていただきたい (2) 新沖縄振興計画期間中に、老朽校舎等の解消を目指すべきだと思うが、当局の見解を伺いたい (3) 県は、市町村の事業計画が振興計画期間の後半に集中していることに対し、国庫負担金の確保や確実な事業執行に向けて、各市町村に建て替えの前倒しを求めているが、当局の見解を聞かせていただきたい
		2 水道行政について	13mm と 20mm の口径別による水道基本料金の格差是正について、当局の取り組み状況を聞かせていただきたい 【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長